社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

「常総ふれあいの杜」広報誌No.22　2014年冬号（季刊）

ふれあい通信

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel0297−27−5016
Fax0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp

発行責任者藤原裕也
編集員広報委員会

一歩一歩、共に。

施設長　藤原裕也

いつも話しかけていくれるご利用者がいます。「障害が嫌い」と、彼は言います。「俺の気持ちが、施設長に分かるわけない」彼は真剣です。確かに、彼の言うとおりだと思います。分かる、と言ったらウソになると思うからです。「障害は不便です。しかし不幸ではありません」という、乙武さんの言葉を思い出しました。障害のあるなしに関わらず、大切な事だと思います。日々の生活そのものが、常に一度きりの人生です。色々と悩みはあっても、感謝と喜びに満たされて私は歩んでいきたい。その事を彼に伝えます。「ふーん……」「また、話をしよう」と言う返事。しばらくして「また、話をしよう」と約束をしてくれます。道の途中には、色々な出来事があるでしょう。一歩一歩、共に歩んでいきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いします。

スナップフォト

楽しかったクリスマス会

イルミネーションが飾りつけられ気分が盛り上がる中、クリスマス会が開催されました。今年は、ご利用者の伴奏と、デイサービスの皆さんによる聖歌隊で賛美歌を歌ったり、事務所の職員で結成されたハンドベル隊による演奏、そしてサンタさん、トナカイさんによる紙芝居を楽しみました。竹田先生から、クリスマスのお話とギターによるコンサート。会場はとても盛り上がりました。上映したスライドショーでは、はじめの一年間の様子を皆様と共に歩んだ様子を映し出され、思わず涙する職員もいました。そして待ちに待った、お母様達の手作りクリスマスケーキ！サンタさんからのクリスマスプレゼント！思い出深い一日となりました。また来年もサンタさんが来ますように……

（藤田朋和）

※ボランティアに感謝します。喫茶／須田晶子様、高橋和子様、中山小夜子様、安田春江様　音楽／山田国昭様　餅つき／保坂保義様

笑顔で迎えるお正月

明けましておめでとう！と、ご利用者に声をかけたら、手を挙げて応えて下さいました。だけど、どこか元気が……。多くの方が帰省され、少し寂しかったのでしょうか。そんなあなたの為に支援員は奮闘します！釣りゲームで、ジュースを釣り上げ、紐を引っ張って、お菓子をゲット！めでたい正月ですから、大盤振る舞いです。車椅子を押して帰る道「良かったですね」と声をかけたら、にっこり笑って手を挙げられました。

（武藤沙苗）

成人式のお祝い

年が明けて、デイサービス開始から一週間後の一月十三日、ふれあいの杜でご利用者の新成人のお祝いをしました。「どんな姿でいらっしゃるのかな？」と支援員たちは想像しつつ、会場の準備に励んでいました。ご本人とお母様が会場に到着。鮮やかにして、艶やかな振り袖姿はとても綺麗でした。みんなでオードブルを囲み会食も楽しみました。最後に記念の写真撮影。「ハタチは、一生モノ」その瞬間ばっちりカメラに収めましたよ！

（臼倉壮彦）

餅つき大会

ホールに集まるご利用者、注目する先には臼と杵。待望の、餅つきの始まりです。正月に食べたい物は？と聞けば、餅は上位にランクインするのではないでしょうか。楽しみにしている方が大勢おられました。餅をつく楽しみの両方あるから最高です。重い杵を持ち上げ臼の中の餅めがけて振り下ろしますアクションが楽しくて、終わってもまだつきたいという方が続出。名残惜しいですが、その後の食事が一番の楽しみ。市販品とは違う、おいしい餅をいっぱい食べて、大満足のイベントでした。

（松浦恭佑）

ハウスで楽しく！

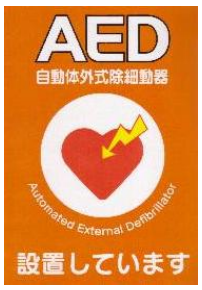
これまで自然耕房班は、雨が降ったら、室内での掃除を行っていました。しかし、念願のビニールハウスが建設され、雨の日もハウス内での活動が出来るようになり、椎茸栽培や、花や野菜の、苗の飼育が出来るようになりました。これからどんなハウスで、楽しい事をしようか、皆で考えて行こうと思います。

（渡辺充）

AED講習＋感染対策

AEDが二台、設置されました。先日は二回目の講習会が行われ、いざという時に備えて、職員は皆真剣に学んでいます。また、現在感染症が流行っています。ふれあいの杜でも数名の方が体調を崩され一人ひとりが感染予防に努め全力で拡大を抑えていきます。

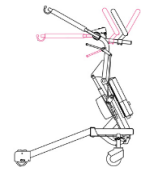
（鈴木則子）



POPO（歩歩）と歩いてま～す！

歩くことから遠のいていたご利用者が、POPOと一緒に再び歩くことに、挑戦されています！昨年十二月、常総貿易株式会社様より、リハビリ用免荷式歩行器POPOを、寄付して頂きました。体重を軽く出来るので、足腰への負担を最小限にした状態で歩くことができます。喜び、自信、発見、交流……様々なものを体感しながら、素晴らしい表情で、一歩一歩を踏みしめておられます。

（川原田千枝美）



一言に感謝

以前、特養での事です。車椅子を自走しているご利用者の脇を走った私。数日後、そのご利用者から「廊下を走られるとすごく怖いのよね」と一言▼自分が気付かないうちに、ご利用者に嫌な思いをさせてしまっていました。反省すると共に、相手の立場になって考える事の難しさを痛感しました。話したくても、言葉に出せないご利用者は、もっとそうなのだということも……▼以来、安心した生活が送れるよう、心にとめて支援させて頂いています▼あの時のたった一言、話してくださったご利用者に、感謝しています。

（山﨑真奈美）

編集後記／オリンピックが始まり、選手の頑張る姿に感動しています。でも、大雪の中、連泊したり、皆の食事を担いで運んだりする職員の姿が、もっと素敵に見えました。